

新発田市の小中学校の耐震化状況について

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす場所であるとともに、地震等の災害時には、地域住民の避難場所としての役割を果たします。

平成31年4月1日現在の市立小中学校の耐震化状況と耐震診断結果を公表いたします。

公立学校施設の耐震改修状況(非木造)

平成31年4月1日現在

		校舎	屋内体育館	計	備考
全棟数 (a+b) A		83	34	117	非木造
内 訳	56年以降に建設された建物 a 棟	56	22	78	
	56年以前に建設された建物 b 棟	27	12	39	
56年以前に建設された建物の割合 $c = b/A$ %		32.5	35.3	33.3	
耐震診断(第2次診断)実施済棟数 d		27	12	39	
耐震診断実施率 $e = d/b$ %		100.0	100.0	100.0	
旧耐震基準のうち耐震診断の結果、補強不要となった棟数 i 棟		11	0	11	
旧耐震基準のうち耐震補強実施棟数 j 棟		15	12	27	
旧耐震基準で耐震補強工事済み及び補強不要の建物を除く棟数		1	0	1	内容については耐震化状況一覧をご覧ください。
耐震化棟数 $k = a + i + j$ 棟		82	34	116	
耐震化率 k/A %		98.8	100.0	99.1	

* 木造校舎の学校は、新耐震基準に基づいて建設されております。(天王小学校体育館1棟該当)